



Special Interview ▶ 福智町消防団 **世良 喜彦** 団長

火 災はもちもん、近年激甚化する自然災害により、ますます消防団の重要性が高まっています。その一方で、高齢化や人口流出、地域コミュニティの希薄化などの問題から、全国の消防団員数が毎年1万人以上減り続けているという危機的状況になっています。これらは他人事ではなく、福智町消防団でも、定員割れの恒常化や団員の高齢化、若年層の入団者減少が深刻な問題になりつつあるため、担い手不足解消に向け、団員の処遇改善にいち早く着手するなど、団員第一の運営を積極的に取り組んでいます。

我々「福智町消防団」が強固な地域防災の要であり続けるためには、性別や出身などを問わず、地域で生活する皆さんの力が不可欠です。地域を守るということは、自分も大切な人を守ることにもつながります。ぜひ、皆さんの力を「福智町消防団」にお貸しください。

現役で活躍する消防団員のリアル。

福智町消防団員の声

Fukuchi Volunteer Firefighter Wanted

令和5年4月1日現在で353人の団員が所属する「福智町消防団」。一見多いと思いきや、高齢化や人口流出、地域コミュニティの希薄化などで、ここ数年は定員の395人を下回る状態が続いています。地域における防災の要である「福智町消防団」が抱えている課題や団員のリアルな声をご紹介します。

※令和5年4月1日現在の情報で掲載しています。

緑ヶ丘ニュータウン、赤池ニュータウン、生力ニュータウン、桜ニュータウン、サンタウン、工場団地

第10分団 団員数 ▶ 10人

【管轄】天郷、大浦、上谷、中谷、下谷、諏訪山

第7分団 団員数 ▶ 28人

【管轄】上弁城、新町、浄万寺、久六、春田、迫、宝珠、草場、二川田

第4分団 団員数 ▶ 25人

【管轄】東古門、中古門、西古門、大黒、東長浦

第1分団 団員数 ▶ 39人

【管轄】敷島町、新町、本町、天神町、昭和町、宝見、人見

第13分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】東組、中組、西組、岩屋組、上の原、板屋、本町、貴船、旭ヶ丘、下町、大和町、昭和町、稲荷町、車道、暁町、徳人原、伏原、高尾、上寿、下寿、西寿

第11分団 団員数 ▶ 17人

【管轄】上組、下組、春日、市津、石松、猿田、8の1～8の5、吉ヶ浦

第8分団 団員数 ▶ 18人

【管轄】上里、中里、山崎、大谷、高見台、板取、北田

第5分団 団員数 ▶ 24人

【管轄】八幡町、鶴ヶ丘、大正町、東区、山の手、松原、矢久保、荻ヶ原、職員区、犬星、後谷、前村、大正町、湧淵

第2分団 団員数 ▶ 16人

【管轄】東金田、西金田、堀川

第14分団 団員数 ▶ 39人

【管轄】神崎、南木、福吉、竹本、太陽、星ヶ丘

第12分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】松本、朝日町、中央台、上桜、下桜、西ヶ丘、ひまわり、中町、南町、東町、北町、新町、花園、コスモタウン、小藤、西町、下西町、伏原

第9分団 団員数 ▶ 15人

【管轄】天郷、皿山、小路、原、堀田、常福、今屋敷、原田、薬王寺、大久保

第6分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】丸山、長浦、見六、広谷、中原、新門、野添、東ヶ丘

第3分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】上金田、平原、高見町

地域分団紹介



消防団 Information 4

福智町消防団員募集中!

対象者 ▶ 性別問わず、下記に該当する人

- ① 町内に居住する人、または勤務する人
- ② 18歳以上で身体ともに健康な人

主な消防団員の待遇 ▶

- 公務災害補償・福祉共済の完備
- 町や県、国の表彰制度あり
- 消防団活動に必要な被服貸与



※ その他は、町HPで公開中。上の二次元コードからご確認ください。

入団の問い合わせ ▶ 福智町役場 防災管理・管財課 防災危機管理係 ☎0947-22-7771
 または、お近くの消防団員へお問い合わせください。

地域を救うHEROに!

第13分団 吉松 賢太郎 団員

生まれ育った町に貢献するため、入団を決めました。最初は、消防団の活動を、消防隊のお手伝い程度だと勝手に想像していましたが、いざ出勤すると団員のかたがホースを握って消火活動していたため、本当に驚きました。今では自分も第一線で消火活動を実施しています。やりがいは何といっても、地域のかたからの「ありがとう」。皆さんの力を消防団で生かし、一緒に地域のヒーローになりませんか。



団の活動は人生の「+」

第7分団 原口 将光 団員

消防団といえば「危険・大変」というイメージが強く、入団当初は家族から心配されていましたが、福智町消防団は「安全第一・仕事優先」で活動しているため思っていた程の負担はなく、今では家族からも応援してもらっています。また、入団したことで地域をより知ることができ、新たな人とのつながりもできました。入団を検討されている人は難しく考えず、まずは一步を踏み出してみたいかがでしょうか。



Special Interview ▶ 各地区で活躍する福智町消防団

自分の町は、自分で守る

第1分団 池田 雅裕 団員

父や地元の先輩たちが消防団員として活躍する姿を見て育ってきたため、自然な流れで消防団に入団しました。最初は何をすればいいのかわからずでしたが、消防ポンプ操法の訓練を積んでいくうちに、火災現場の状況を見て、自分の動きを判断できるようになりました。消防団で培ったものは本業にも生かしています。地元の人も、そうでない人も、自分が暮らす町を自分たちの力で守りませんか。

